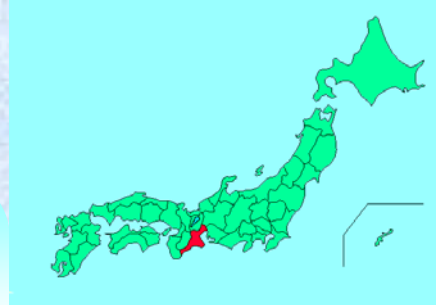




あんらくがわぼし

安楽川橋(仮称)(その1)



本工事は、新名神高速道路(四日市JCT~亀山西JCT(仮称)区間(27.8km))の亀山西JCTに位置し、鈴鹿国立公園を含む豊かな自然に囲まれた環境下での、安楽川橋上下部工事(新設)及び錐ヶ瀧橋(既設)の床版拡幅工事です。

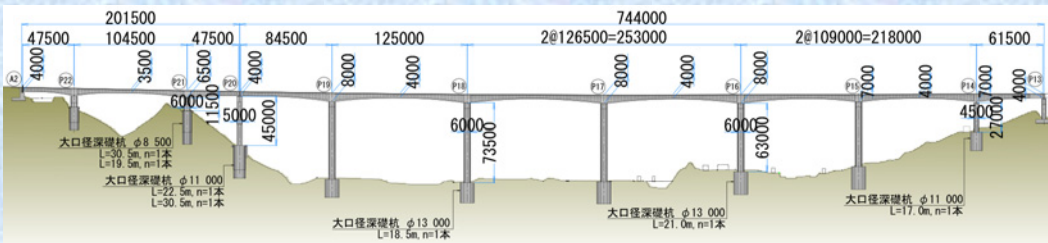
安楽川橋は、池山高架橋(供用中)の上下線間に位置し、供用線と近接施工となっています。一方、錐ヶ瀧橋の床版拡幅工事についても供用中の本線2車線を確保した上での超近接施工となるため、どちらも通行車両に対する安全確保が重要課題となります。

工事区域については砂防・保安林指定区域を含み、環境保全、特に河川の水質保全を図るため濁水の流出、工事排水の水質に厳しい条件が付されています。

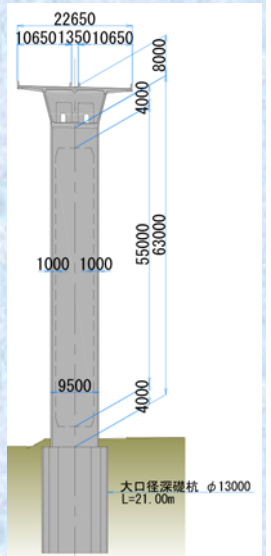


◆一般図

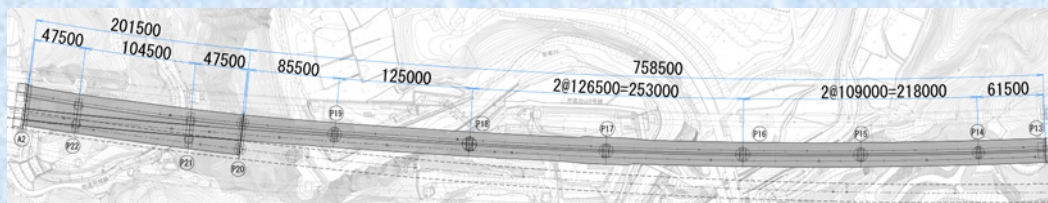
側面図



断面図



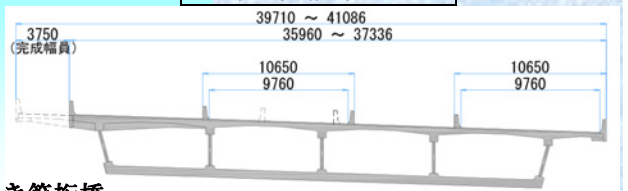
平面図



◆橋梁諸元

- 工事名：新名神高速道路安楽川橋他1橋工事
- 発注者：中日本高速道路株式会社
- 設計者：詳細設計：三井住友建設株式会社
- 位置：三重県亀山市安坂山町地内
- 路線名：高速自動車道国道近畿自動車道名古屋神戸線
- 道路規格：第1種第2級B規格(暫定)
- 形式：PC7径間連続ラーメン波形鋼板ウエブリブ付き箱桁橋
：PC3径間連続波形鋼板ウエブリブ付き箱桁橋
- 荷重：B活荷重
- 橋長：744.0m(61.5+2@109.0+2@126.5+125.0+84.5m)
209.0m(47.5+104.5+47.5m)
- 総幅員：22.650~42.956m(有効幅員 24.762~42.066m)
- 架設工法：張出し架設工法、固定支保工架設工法
- PC鋼材：主方向：SWPR7BL 12S15.2 (ディビダーク工法、フレシナー工法、内ケーブル)
SWPR7BL 19S15.2 (ディビダーク工法、フレシナー工法、外ケーブル)
横締め：SWPR19L 1S28.6 (SM工法、プレグラウトタイプ)

上部工拡幅部断面図



断面詳細図

